

チャレコング

旭川大学高等学校 ライセンスコースだより NO8(2/2) 2018. 9. 26

北海道胆振東部地震 『ブラックアウト』

最大震度7の地震が6日午前3時7分、北海道を襲った。道内全域で大規模な停電が発生しました。電力や交通機関などインフラ機能がストップした。北海道の基幹産業の農業・漁業の他、製紙や製鉄の生産停止など経済活動を直撃。

国内で震度7が観測されたのは2016年の熊本地震以来6回目。北海道電力によると、停電は一時、道内全ての約295万戸に上り、1995年の阪神大震災の約

響を及ぼした。

夜に備え、コンビニ、ホームセンターに足を運ぶ被災者が、食料、水、懐中電灯や電池、カセットコンロなどを買い求める人の長い列ができた。

「文明の利器が登場する以前、我々は別に暮しの上で不便を感じることはなかった。だが一度それらが世に出回り、それを使うことがあたりまえになると、それのない生活は考えられなくなった」。倉本明寿さんは自著「ヒトに問う」で指摘する。

ブラックアウトが長引いていたら今の季節が冬だったら、どうなっていたらどう。

朝晩寒い

朝晩はかなり寒くなってきて、風などもけっこう冷たく感じます。登下校の服装も注意しましょう。



260万戸を超え規模となった。北海道全域に広がった停電は、日単生活に深刻な影

全道大会での活躍を!

4日間にわたる期末試験も無事終了しました。3年生にとって今回の試験のもつ意味の重さを分かっている人は、おそらく十二分に力を発揮したと思います。

さて、試験も終わり、来月から始まる全道大会には、ライセンスコースから多くの生徒が出場します。硬式野球部は、9月30日(日)

から始まるのを皮切りに、旭川支部大会で優勝したバスケット部、個人2位入賞の弓道部の奥州君、復良賞の鈴木さんは併論大会に出場します。支部大会を勝ち抜き、全道、あるいは来年の全国選抜大会に近づけるよう精一杯頑張りたいと思います。心身ともにベストな状態で大会に挑めることを期待しています。

・秋季北海道高等学校
野球選手権大会
10月1日(月)対北照

・全国高等学校
サッカー選手権
10月13日(土)帯広

・北海道高等学校選抜
弓道 10月8日～
奥州丈介君(1年)

・高文連全道併論大会
10月10日～
鈴木菜央文(2年)

採用選考 解禁

2019年春に卒業する高校生の採用選考が16日に解禁になりました。人手不足を背景に高卒採用の求人倍率は8年連続で上昇する見通しだが、同じ売り手市場でも学生が複数の内定を得て企業を跳び卒とは異なる。「応募は1人1社まで」といった1950年代からのルールが残っているためだが、旧弊を打ち破ろうというスタートアップが登場しており、高校生らの「援軍」になっている。